

トークイベント

福島を見つめた 留学生たち

立命館大学
国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University
みて・かんじて・かんがえて・その一歩をふみだそう



福島県をスタディツアーで訪問した立命館大学の留学生たちが、それぞれ目にした福島の姿や東日本大震災を受けた日本社会への想いを語り、福島のこれからについて講師を交えた意見交換を行ないます。

日時：7月19日(土) 13:30~15:30

会場：立命館大学国際平和ミュージアム2階 会議室



■福島県「スタディツアー」について...2013年12月20日、立命館と福島県が協定締結を記念し開催した企画のなかで、福島県の内堀副知事と留学生が交流したことをきっかけに、福島県スタディツアーを実施。2014年2月6日(木)~7(金)の日程で立命館大学で学ぶ留学生(7カ国・8名)が福島県を訪問。にぎわいを取り戻した県内の観光施設や、集団移転を余儀なくされた福島県富岡町の方々が暮らす仮設住宅など訪問した他、福島県庁、および福島大学を訪問し、福島のこれからのために留学生ができることについて、福島大学の学生たちとディスカッションを行いました。

プログラム * 言語：日本語

○進行：山口洋典 (立命館災害復興支援室チーフディレクター)

報告【留学生は何を見たか】 鄭周河(チョン・ジュハ) 写真展によせて

<福島を訪問した留学生>

クリストファー・ヘッカー (立命館大学大学院国際関係研究科/ドイツ出身)

ポーリーナ・イバノバ (立命館大学大学院国際関係研究科/ウクライナ出身)

<福島訪問を引率した職員>

ガリレオ・ユセコ (立命館大学留学生課職員)

ミニレクチャー【福島の今と復興支援を考える】

安齋育郎 (国際平和ミュージアム 終身名誉館長)

会場からの質疑/登壇者ディスカッション【福島のこれから】

報告・ミニレクチャーに関する会場の皆様との質疑

主要なキーワードによるディスカッション

申込み不要/先着順で当日受付

定員：●名程度

*写真展は参観料が必要です。

【立命館大学国際平和ミュージアムへのアクセス】

〒603-8577 京都府北区等持院北町56-1

TEL 075-465-8151

※お車でのご来館はご遠慮ください。

JR・近鉄京都駅より 市バス50 JRバス

JR/地下鉄二条駅より 市バス15・55

地下鉄北大路駅より 市バス204・205

京阪電車三条駅より 市バス15・59

阪急電車烏丸駅より 市バス51・55

阪急電車西院駅より 市バス205

JR円町駅より 市バス15・204・205



主催・企画に関する問合せ：立命館災害復興支援室